

宝塚第一小学校の教育環境適正化について

宝塚市教育委員会

Ⅰ 通学区域の弾力的運用の取組について

(1) 令和7年度就学(通学区域の弾力的運用)に係る意向調査結果について

① 調査期間

令和6年10月8日～11月29日(※調査期間後の転入者については随時案内)

② 周知方法

- ・ 新1年生就学時健康診断通知書に保護者通知を同封
- ・ 在校生スクリレ(デジタル配信ツール)で保護者通知を配信

③ 調査結果(令和6年度就学 及び 令和7年度就学)

(単位:人)

年度	区分	対象者数	西山小	逆瀬台小	末広小	合計
R6	新1年生	182	4	0	2	6
	在校生(1年生～6年生)	1,079	0	0	2	2
R7	新1年生	185	1	1	3	5
	在校生(現1年生～5年生)	870	0	0	0	0
合計			5	1	7	13

※対象者については、調査時点の人数(他の国公立、私立小学校への就学予定者を含む)

(2) 学年別 宝塚第一小学校児童数 及び 弾力的運用制度利用者について

令和7年度の見込み(令和7年1月31日時点)

学年	第一小	弾力的運用制度利用者			
		西山小	逆瀬台小	末広小	合計
1年	174	1	1	3	5
2年	158	4	0	2	6
3年	162	0	0	1	1
4年	201	0	0	0	0
5年	182	0	0	0	0
6年	169	0	0	1	1
合計	1,046	5	1	7	13

2 宝塚第一小学校の児童数・学級数 及び ジオタワー宝塚グランレジス建設に伴う就学者について

(1) 令和6年度 及び 令和7年度の児童数・学級数について

① 令和6年度 児童数・学級数(学級編成基準日:令和6年4月9日時点)

(単位:人)

学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
普通学級	児童数	150	155	194	176	157	183	1,015
	学級数	5	5	6	6	5	5	32
特別支援	児童数	9	6	10	4	8	4	41
	学級数	—						7

② 令和7年度 児童数・学級数の見込み(令和7年1月31日時点)

(単位:人)

学年		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
普通学級	児童数	164	149	156	191	177	161	998
	学級数	5	5	5	6	6	5	32
	受入可能人数※	11	26	19	19	33	14	—
特別支援	児童数	10	9	6	10	5	8	48
	学級数	—						8

※各学年において、普通学級数に影響を及ぼさずに受け入れることができる人数を記載している。

1学級35人で計算し、5学級の場合は175人、6学級の場合は210人まで受け入れることができるものとして算出している。

③ 令和6年度と令和7年度の学級数の比較について

- ・普通学級数の合計は、ともに32学級である。
- ・特別支援学級数の合計は、7学級から8学級に増加している。

(2) 令和7年度及び令和8年度のジオタワー宝塚グランレジス建設に伴う就学者(入学・転校)について

① 開発事業者から、令和6年度末に竣工予定の北棟(315戸)は、約220件が成約されており、令和7年度から宝塚第一小学校へ就学する可能性があるのは、10人以下と確認している。

② 開発事業者から、令和7年度末に竣工予定の南棟(322戸)は、約100件が成約されており、令和8年度から宝塚第一小学校へ就学する可能性があるのは、0人と確認している。

※①・②については、令和7年1月30日時点の開発事業者から確認した数値

3 今後の取組等について

(1) 通学区域の弾力的運用の取組を継続して実施する。

(2) 令和7年度の学級数については、各学年にそれぞれ10人受け入れた場合でも、普通学級数への影響はない状況である。引き続き開発事業者と定期的な意見交換を行いながら、状況把握に努める。

(3) ジオタワー建設による児童数・学級数への影響は小さいと見込まれるが、過大規模校である状況に変わりはない。特別支援学級数が全市的に増加傾向であることも踏まえ、引き続き教育環境適正化検討委員会を定期的に開催し、情報共有及び検討を行う。